

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>様々な職場の方とお話しでき、事務手続を中心に問題意識を共有でき、有意義な集会でした。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>職員、学生、教員などの全体的な信頼関係の構築が大切だと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>是非継続して欲しいと思います。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none">- まず、参加者が多くてビックリしました。- 職員さんのお話やご意見が聞けて、とても有意義でした。- 職員と教員の間にごろの交流が少ない場合、両者の間に不要な誤解が生じることが少なくないと思います(これは教員同士、職員同士あるいは友人同士でも同じだと思いますが)。その誤解を少しでも解消するという意味で、職員と教員の間で、インフォーマルに話をする機会を作るというのはプラスだと思います。
<p>②職員へのメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none">- 日ごろのお力添えに感謝しています。
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none">- とても良い企画だと思いました。- ただ、今回に関しては、理事の先生による講演の内容とディスカッションが独立してしまっている(相互に関連していない)ような印象を受けました(ディスカッションは比較的自由的なテーマだったと思います)。このため、構成としては改善の余地があると思います。具体的には、講演のテーマを一つに絞り「そのテーマについてディスカッションをする」あるいは「講演はなしで、ディスカッションの時間を長めに確保する」などが考えられると思います。

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>とても有意義でした。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>多様なレベルで、多様な形の「ひろば」があればいいな、と思います。</p> <p>横のつながりが強化されていくことを願っています。</p> <p>(短い感想ですみません)</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>第一に、参加者の多さに驚きました。それだけでも、大勢の職員さんに教員は支えられて、自分の研究活動ができているという認識が深まりました。</p> <p>第二に、第二部のワークショップでは、各部署の職員さんが教員の抱える問題点を聞き出して、できるだけ改善しようとする高い意欲を持っておられる姿が印象的でした。</p> <p>第三に、職員さんには同世代の方々が多くいらっしゃるよう感じたので、安心しました。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>職員さんがこれほどまでに、教員の研究時間を確保しようと努力する様子を目の当たりにして、その真摯な姿勢に感謝する次第です。色々と事務手続きにて、こちらの不手際もあると思いますが、これからもお世話になりますので、よろしくお願いします。</p> <p>大学運営に関して、教員よりも職員さんのほうが詳しい場合もありますし、普段から教職員がコミュニケーションをとれる環境があれば、ささいな不明点でもお尋ねしやすくなるように思います。</p> <p>同世代の職員さんには、ぜひ、今後とも交流できる機会を設けていただけると幸いです。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>今回の「学びの広場」では、教員の研究時間の確保をテーマとして、職員さんがいかに対応を改善させるか、といった視点が強かったですが、教員側も不満を述べるだけでなく、職員さんの業務内容・現状を理解すれば、お互いに不満が少なくなるように感じます。したがって、日ごろから接する機会をもつ必要があります。</p> <p>そうした点を考慮した企画を検討してもらえれば幸いです。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>通常は、私は業務のやりとり以外で職員の方、特に他部局の職員の方とお話する機会はほとんどありません。今回の「学びのひろば」に参加させていただき、職員の皆さんのお考えを直接お聞きすることができてとても有益でした。ディスカッションでは、当初、あたりさわりのない話題で終わってしまうのかとも思いましたが、時間がたつにつれ、最終的に、みな本音で話をしていたように思えます。よって会の趣旨としてはある程度成功したのではないのでしょうか（すくなくとも私のグループでは、そう思えました）。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>当日の「学びのひろば」のディスカッションのときに私のグループの方には話しましたが、国大の職員のみなさんの多くは、私がこれまで勤めてきた他大学の職場に比べると、とてもよくお仕事をされていると思います。よって、そのような優秀な方は、無理をなされないよう、お体をこわさぬ程度にほどほどに手をぬいて頑張ってください。もちろん、組織ですから、なかにはとんでもなく「非有能」な職員の方もいることは仕方ないことです。そのような「非有能」な職員の方は、他に迷惑のかからない閑職・部局に優先的いただくシステムが確立しているといいなあとと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>教員は私のようなヒラの立場のものばかりではなく、もうすこし、大学執行部のエライ立場の先生がいるとよいかもしれません。ディスカッションのグループひとつについて 1 人か 2 人のヒラ教員と、1 人のエライ教員、あとは 4～5 人の職員の方の割合ぐらいでしょうか。</p> <p>あとは、そうですね、「学びのひろば」だけだと堅苦しいので、そのあとに、懇親会などがあると、もうすこしゆるくなってよいのではないのでしょうか。煉瓦亭なんかの立食でもいいです。おそらく皆さんお忙しいのでそこまでの参加は無理でしょうけれども。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<p>テーマ設定がよかったと思います。私のグループ内でも教職員間でのちょっとした認識の違いも見受けられました。大きさに言えば、お互い言い分はあるようですので、風通しをよくして、問題意識を共有すれば、教員間・職員間・教職員間のやりとりもスムーズになって、業務の効率化や気持ちよく仕事できる環境づくりに結びつくと感じました。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>本学は医学部のない大学として、トップレベルのアクティビティをもっています。それに対して職員数は必ずしも多くはないようです。職員の皆さんに支えられ、その質・量を保っています。教職員一丸となって、教育サービス向上、世界的な研究成果の創出を目指しましょう。</p> <p>業務においてちょっとした認識違いでスムーズなやりとりができなかったりということがあられるかもしれません。このような場で問題意識を共有し、改善できればと思います。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<p>各グループで話し合われた内容が、そのグループ内や、グループリーダー、イベント実行の皆さんに留まっているような気がします。私も他のグループでの話題や意見に興味があります。</p> <p>有意義なイベントですので、是非続けて頂きたいです。ただし、テーマ設定、出席者確保等ご苦勞も多いでしょうから、そこはあまり無理せずでしょうか。</p>

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNU をこんな風にしていきたい～ についての感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いを知るということは、とても大切なことだと思います。職員の皆さんの話を聞いていて、まだまだお互いに知らないことが多いと感じました。それに対して、今回の企画はよい機会を与えてくれました。 ・多くの参加者がいたことに少々驚いています。FDシンポジウムのように、教員の会合ではこれだけ多くの人を集めることはできません。職員の方が大学を改善しようとする意識が高いのではないのでしょうか。
<p>②職員へのメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不合理な規則と我儘な教員との板挟みにあって、大変だと思います。生の声を聞くと「この規則、おかしいんじゃない」と思いつつ、教員に依頼することがあるということ分かりました。教員も同じように思っていますので、対立ではなく、仲間意識が育ちそうに気がします。お互いに何を考えているかが伝わるようにしたいです。
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働で何かモノを作ることができればいいかなと思います。例えば、学内教職員向けの職場の紹介ビデオとか、高校生向けの大学事務のキャッチコピーとかです。モノを作るという目標があれば、実際に作らないモノであっても、議論が盛り上がるのではと思います。 ・学生の意見も取り入れたいです。職員・教員・学生の三者が有機的につながれば、理想の大学ができるのではないのでしょうか。

平成 23 年度第 2 回「学びのひろば」アンケート（教員用）

<p>①第 2 回「学びのひろば」お互いを知る～YNUをこんな風にしていきたい～についての感想</p>	<p>普段接することのない、(教務課以外の) 職員の方々と率直な意見交換ができたことはとても貴重な体験でした。ただ、(グループディスカッションでも申し上げましたが)、個人的に職員と教員の間「格差」(=教員が上、職員が下)があるように感じられ、正直、違和感を覚えました。その一例が、当日配布された名簿です。教員の名前が筆頭にきており、次いで職員の方々の名前であったと思います。今回は教員がゲストのような立場だったからなのかも知れませんが、この「学びのひろば」は職員の方がメインで行われているものだと思いますし、「教職協働」や「パートナーシップ」を謳っていくのであれば、教員と職員に「区別」はあっても「差別」はないような文化を創っていくことが大事なのではないか、と思いました。</p>
<p>②職員へのメッセージ</p>	<p>私は、立場上、全学的な教学改革に携わっていますが、もっともっと多くの部署の職員の方々と意見交換をし、一緒に楽しく改革ができればと思っています。</p>
<p>③今後の「学びのひろば」への要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッションで話をする中で、本学には職員も教員も「若手」がやる気をなくしてしまうような雰囲気はないだろうか、と思いました。①でも書いたように、今後職員と教員との間の垣根を低くする／無くすことが大切だと思いますが、長く染み付いた文化というものもありますし、すぐに変革するのは難しいと思います。ただ、若い人たちからそのような文化を変えていくことはできるのではないかと考えます。その意味で、若手職員と教員を対象にした交流の場としての「学びのひろば」を開催されるのはどうかと思っています。もちろん、“先人の智慧”も大切ですので、若手教職員のグループに 1～2 人、熟年教職員が入り、アドバイスをもらったり、若手の意見に耳を傾けてもらう、ということがあっても良いかも知れません。 ・ グループディスカッションの席でもお伝えしましたが、愛媛大学は職員と教員との垣根が低く、和気あいあいと仕事をしている印象があります。また、愛媛大学が中心となって「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)」という組織もあるほどです。その愛媛大学から講師を呼んでお話を伺う、という機会があっても良いかも知れません。